

事務事業名	職員永年勤続表彰事業			担当	総務部 総務課 研修厚生係		
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	組織の適正化と人材の育成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成15年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市職員表彰規則						
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費		2. 人事管理費		
事業概要	一般職の職員で他の職員の模範として表彰に値する業績のあった職員を表彰し、もって職員の勤労意欲を高揚し、業務能率の向上を図るとともに、職員に全体の奉仕者としての責任を自覚させる。満20年、30年、40年勤続し、その勤務成績が優秀な者を表彰する。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 4月に、職員綱紀委員会において被表彰者候補者を審査し、当該年度の5月に表彰した。 31年度計画 4月24日に、職員綱紀委員会において被表彰者候補者を審査し、当該年度の5月に表彰する。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア：被表彰候補者数			24	15	32	24	21	
イ								
ウ								
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 一般職員	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア：一般職員数			476	470	467	469	485	
イ								
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 永年にわたり勤務成績が優秀な職員を表彰する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア：被表彰者数			24	15	32	24	21	
イ								
ウ								
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 職員のさらなる勤労意欲の高揚	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア：勤労意欲が高揚した職員の割合			100	100	100	100	100	
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	245	153	326	245	214	
	事業費計(A)	千円	245	153	326	245	214	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	40
		人件費計(B)	千円	168	166	166	167	167
トータルコスト(A)+(B)		千円	413	319	492	412	381	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	職員として永年にわたり成績優秀な者を功労者として表彰する。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	真岡市表彰条例の規定に基づき、市政功労者とともに20年及び40年勤続職員を表彰していたが、平成14年度に職員表彰規則を制定し、平成15年度より職員表彰規則に基づき永年勤続職員を表彰することに切り替えた。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	